

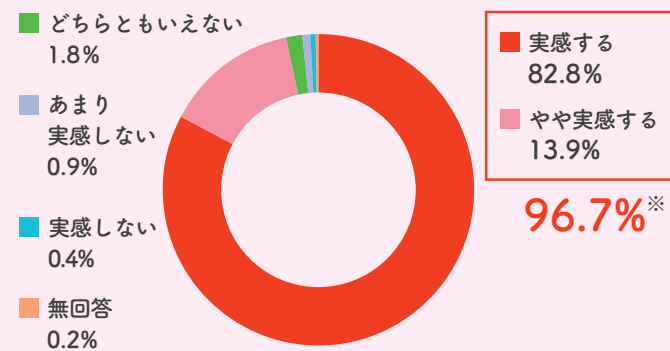
ご家庭を取り巻く現状

コロナ禍に加え、物価高騰の影響も。

以前から続く新型コロナウイルス感染症流行の家計への影響に加え、2022年度は物価高騰の影響も大きい1年でした。ご利用家庭へのアンケート結果からも、その影響が伺えます。

日常生活で食品、日用品、サービス、光熱費等の値上を実感

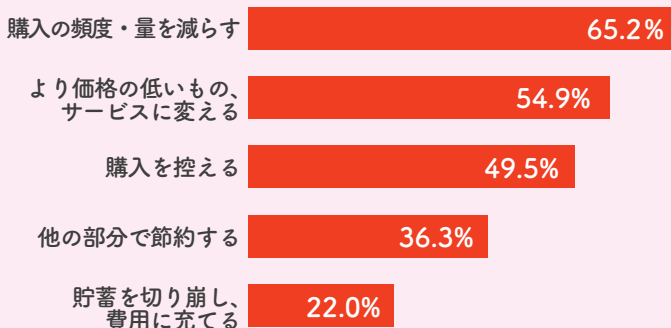
日常生活で食品、日用品、サービス、光熱費等の値上を実感していますか？（n=554,5A）



※「実感する」「やや実感する」と回答した人の割合

値上がりへの対応

必要なものの値上がりに際し、どのような対応をしていますか？（n=554,MA）



「既に出費を切り詰めており対応のしようがない」という声も。

物価高騰に関するご家庭の声



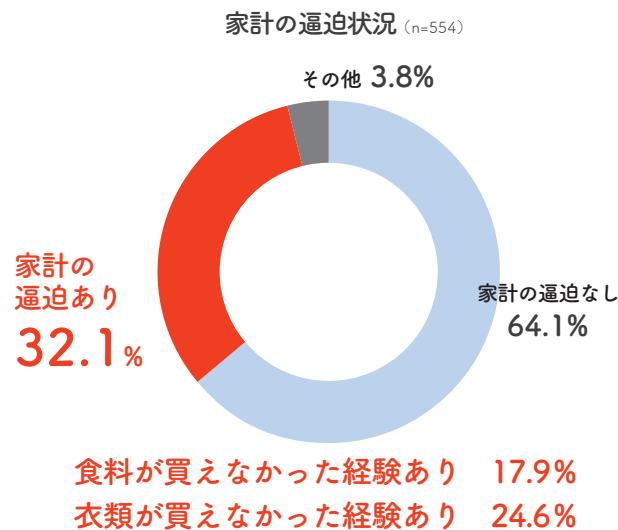
物価高騰ばかりで、今まで買っていたものも躊躇する事が多くなりました。子どもたちのお弁当作りに食材は必ず必要ですし、高いなと思いつながら仕方なく購入する事もあります。



様々なものが値上げされ、今年の夏休みは生活費が足りなくなりました。子どもはどんどん大きくなり、喜んでいいことですが、食べる量が増えたため費用がかさみます。

利用家庭の3分の1が「家計の逼迫あり」

過去1年間で、経済的な理由で公共料金が支払えない、食料、衣類が買えなかった経験があるなど、家計の逼迫があった世帯は利用家庭の約3分の1（32.1%）に上りました。前年度の29.5%から増えていることもあり、ご家庭の状況が厳しくなっていることがわかります。



子ども宅食による変化やご家庭の喜びの声はこちら

2022年度 会計報告

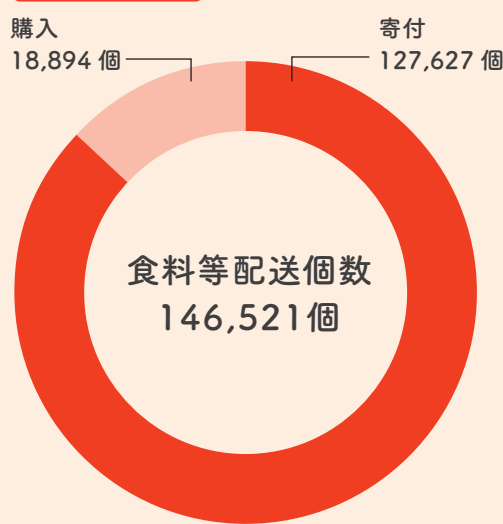
2022年度は、2ヶ月に1回の定期配送とは別に新型コロナウイルス感染症流行への支援として、冷凍食品を含む臨時便の配送を行いました。

ふるさと納税の状況

●ふるさと納税について、2022年度の総事業経費（予算額 56,760,000 円）に対して 51,400,000 円を目標にご寄付を募り、ふるさと納税サイトの「ふるさとチョイス」や窓口を通じて計 37,713,000 円のご寄付をいただきました。

予算額の使いみち

食品配送個数



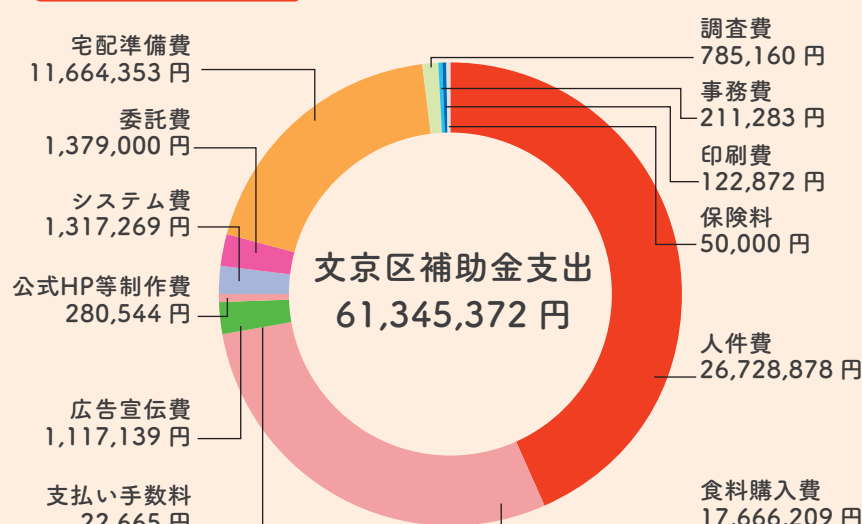
●お届けする食品の多くが、企業や団体からの寄付のため、全体のバランスを考慮して、一部追加購入し配送しました。

文京区補助金における全体の予算額・決算額の比較表

項目	予算額	決算額	差引
人件費	26,918,200	26,728,878	189,322
食料購入費	18,399,770	17,666,209	733,561
支払い手数料	33,000	22,665	10,335
公式HP等制作費	281,000	280,544	456
システム費	1,318,000	1,317,269	731
委託費	1,714,000	1,379,000	335,000
宅配準備費	15,390,500	11,664,353	3,726,147
広告宣伝費	1,118,000	1,117,139	861
調査費	786,000	785,160	840
事務費	362,148	211,283	150,865
印刷費	142,280	122,872	19,408
保険料	50,000	50,000	0
予備費	39,102	0	39,102
合計	66,552,000	61,345,372	5,206,628

●66,552,000 円の補助金が交付されましたが、実際にかかった経費は 61,345,372 円でした。差額である 5,206,628 円は、文京区へ返納しました。

費目ごとの支出詳細



- 人件費はこの活動を支えるコンソーシアムのスタッフ 14 人分（文京区及び村上財団の職員を除く）のものです。
- 委託費には、社会的インパクト評価におけるアドバイザー費用、弁護士顧問料等が含まれています。
- 宅配準備費には、配送料のほか食品梱包に必要な資材経費も含まれています。
- 2022年度は、新型コロナウイルス感染症流行と物価高騰に対する支援策として、追加支援を複数実施しました。

新型コロナウイルス感染症流行に加え物価高騰の影響もあった2022年度でしたが、冷凍食品配送、QUOカードや図書カードの全世帯配付、臨時便の配送など、数々の支援を実施してきました。

子育て世帯を取り巻く状況の変化を反映しながらこの事業を進めることができたのは、皆様の応援とこれまで託していただいたご寄付のおかげです。本当にありがとうございます。



こども宅食

2022
事業報告書



2022年のふるさと納税で文京区の「こども宅食」を応援してくださった皆様へ

文京区長 成澤 廣修

全国に広がった「こども宅食」は、2017年に文京区で誕生しました。

その運営主体であるこども宅食コンソーシアムでは、「見えない貧困を見えないまま支援する」をコンセプトに、貧困であることを知られたくないご家庭の気持ちに寄り添いながら活動しています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰による家計への影響を踏まえて、お米を3倍以上増量した「夏の増量便」や、QUOカード1万円分、子どもの人数に応じた図書カードの配付のほか、3月には「春休み臨時便」といった様々な支援を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、日常にも活気があふれてきました。大変喜ばしい一方、様々な活動再開による家計への負担も増加し、保護者の経済的困窮により子ども達が将来の夢を諦めることのないよう、寄附者の皆様のご期待に応えながらこども宅食を通じて精いっぱい応援していく所存です。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2022年度も
あたたかいご支援ありがとうございました！

あなたのふるさと納税が親子を支える

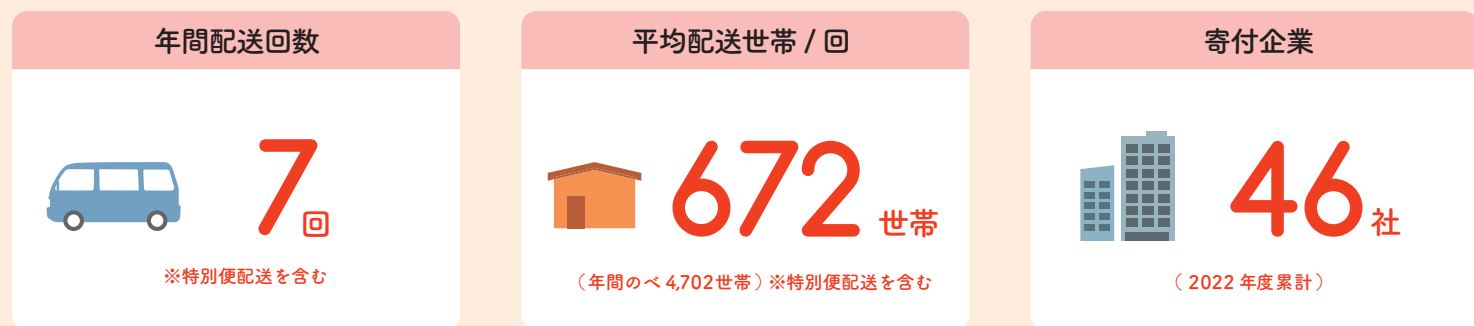
こども宅食の活動は皆さんのご支援により支えられています。引き続き、応援よろしく願いいたします。

こども宅食への
寄付はこちらから



2022年度実績

2022年度は延べ4,702世帯へお届けすることができました！ あたたかいご支援、本当にありがとうございました！



物価高騰の影響を鑑みでの追加支援や食品配送以外の取り組みも

2022年度は定期的な食品配送に加えて、物価高騰によるご家庭への影響を鑑み、5回の追加支援を行いました。ご家庭の経済的な負担や家事の負担が少しでも減るよう、工夫しながら行っています。文京区こども宅食は、今後も社会情勢に合わせた支援を行ってまいります。



12月配送

LINEを活用した定期的な情報配信や相談支援

ご家庭とつながっているLINEを活用して、アンケートでニーズが高かった給付金や奨学金などの情報を定期的に配信しました。また専門的な資格のある相談スタッフが、オンラインで継続的に声をかけ、子育てや困りごと等についてゆるやかに雑談・相談を受けながら、情報提供や支援へつないでいきます。「こども宅食」は食品を届けるだけでなく、ご家庭とつながり、次の支援につなげることも目指しています。



情報配信の事例

企業から体験機会をご寄付いただき提供

経済的な状況に関わらず、子どもが様々な体験の機会を持てるよう、文京区こども宅食では定期的な食品の配送と並行して、ご支援企業・団体さんから体験の機会をご提供いただき、機会提供も実施しました。2022年度には野球観戦へのご招待、ぬいぐるみや絵本のプレゼントを行いました。

2022年度文京区こども宅食の歩み

- 2022.4** 4月配送
- 2022.6** 6月配送
2021年度会計報告／インパクトレポート（2021年度成果報告）公開
- 2022.8** 【追加支援】8月夏の増量便・夏の臨時便配送
物価高騰の影響や夏休みでより食費などにお金がかかるため、お米を通常配送の3倍以上にして「夏の増量便」を、加えてQUOカード1万円分を「夏の臨時便」としてお届けしました。
- 2022.10** 10月配送
- 2022.11** 【追加支援】図書カード配送
利用世帯の子ども1人ずつへの支援としては初めて、「図書カード千円分」を約960人の子どもたちへお届けしました。
- 2022.12** 【追加支援】12月配送 ★高校生世帯へのお米増量開始
お子さんの年代や人数に合わせた支援の一環として、高校生のお子さんがいるご家庭に対し、お米を増量したお届けを開始しました。
- 2023.2** 【追加支援】冷凍便配送
冷凍食品を含む「冷凍便」をお届け。手渡し率86.7%と、2022年度の平均より約20%向上し、普段の配送以上に見守りを強化することができました。
- 2023.3** 【追加支援】春の臨時便配送
ご支援企業・団体向け事業報告会

物価高騰によって影響がある食品をベースに、ご家庭の家事と家計の負担が少しでも軽減するような食品を取り揃え、「春の臨時便」をお届けしました。

文京区こども宅食6年の成果



ご利用家庭から感謝の声が届きました！

 お届けくださるお米がいつも本当に美味しく、家族で食卓を囲む時にとても和みます。シチュー等の食品も充実していて、調理時間の短縮になり子どもとの時間を多く持つことが出来ています。また、娘は化粧品類をととても喜んでおり、年頃なのメイクを楽しんでいます。改めて、感謝申し上げます。

 6月便、待ちに待っていました。入学 & 入園からイベントも次々復活し、遊び盛り、食べ盛り、出費がかさむばかりでしたので。給料日前のお米や缶詰めの心強さと言ったら... 本当にありがたい限りです!!

 今月分の配送も無事に受け取らせていただきました。お米や食品、いつも助かっています。また、買ったことのない有名メーカーさんの口紅やアイシャドウも届きまして大変驚いてます。普段、自分のコスメ代を抑えて食費に当てているので…。たくさんの支援者さんに感謝して、引き続き、目の前の息子と二人三脚で生活を頑張っていきます。

 主人が発熱、コロナ陽性でした。ステイホーム中、こども宅食とラインが繋がっているというのは、本当に心の支えでした。つらい思いをしても、こちらに愚痴るなり、笑い話にして書き綴るなりできるなあ、という思いもあり、気が晴れることが何度もありました。そして、自宅療養期間があけてからお届けがあるというのも励みになっていました。皆様の優しさと、こちらのシステムが、こんな風に人を救ってくれる場面もあります。

 届く度に、みんなで囲んで1つずつ出してワイワイしてます。素敵なコスメの数々に思春期の上2人はきゃしゃきゃしゃ喜んでおり、ゾウのぬいぐるみは、下の子と一緒に寝るほど気に入っております。いつも配達員さんの子どもたちを気遣うお言葉も嬉しいです。本当にありがとうございます。おかげさまでみんな元気いっぱいです。

 手軽に食べられる食品は時間がない私たちにとって本当に助かります。冷凍でいただいたハンバーグはその日のうちにおいしくいただきました。おかげさまで家族の時間も取ることができて、会話も増えたように思います。改めて、皆様のお心遣いに心より感謝申し上げます。

利用家庭の変化

回答者の71.1%が「社会とのつながりを感じる」、66.9%が「安心して生活できている」と回答するなど、こども宅食の利用により、**保護者の気持ちに前向きな変化が見られました。**



こども宅食の支援を受ける前と後であなたの気持ちの変化についてお答えください。

